

# 宮城県多面的機能支払推進協議会長賞

やつみやちくかんきょうしげんほぜんかい

## 八宮地区環境資源保全会【白石市】



本地域は、白石市の北西部に位置し、農用地は標高50m～400mの中山間地域に散在している。構成員の協力を得て、草刈り、用水路、地域環境の整備等の保全活動を行ってきているものの、集落内の農業後継者不足や高齢化等により適切な農地等の保安全管理活動が困難になりつつあり、加えて、獣害の発生や畦畔の大きな水田が概して多く、草刈り管理が重労働となっている。

### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 105.4ha  
(田 85.6ha, 畑 19.8ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

高齢化による作業の負担、後継者難により耕作面積の縮小や離農が進み、耕作放棄地が発生する恐れがある。勾配や中山間地など条件の悪いところでの管理作業に手が回らない構成員の農地を今後どのように保安全管理していくのか不安がある。

#### 【保安全管理】

今後、担い手の減少が見込まれることから、既存の「農事組合法人八宮農業生産組合」との連携による農業用施設の保安全管理への協力と、近隣の経営組織や個人経営の担い手等と連携し、地域農業を強化していく。



【景観植物の植栽】

### 取組の内容

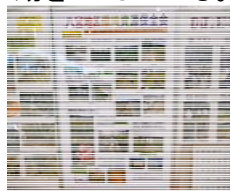
■景観形成活動として、農村環境の維持と景観向上のため、遊休農地を有効活用した蓮田化やひまわりを植栽を実施。農道や水路、農地路肩には水仙等花類の植栽を実施。

■きめ細やかな雑草対策として、農道法面や農地法面に作業の省力化に有効な雑草抑制芝ティフブレアの植付けや、防草シートを設置してそこに芝桜を植え付けるなど活動を行っている。

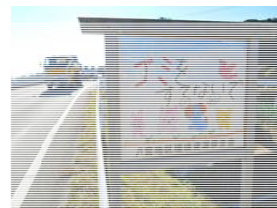
■地域住民との交流活動として、生き物調査などを実施し、将来を担う子ども達に農業についての理解を高めてもらっている。

■子供会に、農地へのごみのポイ捨て禁止を目的とした「環境浄化ポスター」を作成してもらい意識啓発を促している。

■農業祭へのパネル展示など積極的に活動をPRしている。



【活動のパネル掲示】



【環境浄化ポスター】

### 取組の効果

■遊休農地を活用し、蓮やひまわり等景観植物の植栽を行うことにより、農村景観の向上とともに農用地の荒廃を防ぐことができた。

■雑草抑制芝の植付けにより雑草対策の省力化が図られた。

草刈りなどの保安全管理活動や農村環境保全活動は、地域住民全員参加型を指向しており「自分たちの地域を自分たちで守る」という意識の醸成にも配慮していきたい。



【子供会の生き物調査】